

宮城県の特産品の白石和紙です。日本の歴史のある重要な場面であるものに使われました。何だと思いませんか。

昭和20年9月2日 戦艦ミズーリの上で 日本は連合国に対し降伏しました。 その降伏文書は、白石和紙で作られました。

連合国軍最高司令官のマッカーサーは、「この紙は千年もつそうだが、この条約も千年もつように」といったといわれています。

条約とは降伏文書の内容のことです。

降伏文書です。「戦争が終わりました。仲良くやっていきましょう。」とう内容ではありません。

どんなことが書かれたと思いますか。

一言でいうと。連合国最高司令官のいうことはなんでも聞く。

その調印式ですが、日本の政府の代表者は外務大臣の重光葵。全部で11名参加しました。

式は、マッカーサーのスピーチにはじまり、各国の代表者が署名していきます。

その時調印式にハプニングが起こります。あってはいけないことが起きたのです。

日本側が受け取る文章にカナダ代表が間違っ、署名を違う国に書いてしまったのです。

結局 不備な 降伏文書になってしまったのです。

連絡係りのサーザラント中將が

「申し訳ないけどこれうけとくれ。」

さて、日本の代表团なら どうしたと思いますか。

① びりびりに降伏文書を破った。

② 納得できないから交渉した。

③ 悔しいけど我慢した。

日本の代表団は こういいました。 「このような降伏文書 天皇陛下にお見せすることはできない。」

アメリカ 「そちらでなおしていただけないか。」 日本「マッカーサーが直すべきである。」

アメリカ「今、祝杯を上げているから無理。」

ここからが交渉なのです。

マッカーサーにも、日本にも恥をかかないお互いプラスになる提案をするしかないですね。

自分ならどうしますか。

日本「だったら参謀であるあなが治すべきではないか。」

アメリカ「OK」

サーザラント中將は 一つ一つ丁寧になおしたそうです。

日本「誰が直したかわからないからイニシャルもつけて。」

アメリカ「OK」

日本代表団は、降伏文書を受け取り東京に帰えることができました。

その日 もう一つ事件がありました。

その日の午後4時 アメリカは、3ヶ条の布告 を朝10時に出したいので、公表の手続きをとるように。

日本を米軍の軍事管理のもとにおき、公用語を英語とする。(政府の消滅 国語が英語に変わる。)

米軍に対する違反は軍事裁判で処分する。

通貨を米軍の軍票とする。

この条件を飲んだら完全にアメリカの植民地ですよ。

この3ヶ条の布告。マッカーサーと交渉して撤回させた人がいたんです。

それが、降伏文書に署名した、それが重光葵です。

事前に連絡もいれずに、マッカーサーを待ち伏せして、強引に会談に持ち込みました。

でも、交渉ですから 3 箇条の布告 絶対反対やめてくれ だけでは聞いてくれません。

重光葵は、マッカーサーにこう言いました。

「ポツダム宣言にかかれていないことだし、混乱が生じるおそれがある。」

自分の要求を聞いてもらうには、相手にもプラスになると思うことを提案しなければいけません。

マッカーサーに日本の占領政策についてどんな提案をしたと思いますか。

天皇のもとにある日本政府を通じて占領政策を行うのがもっともよい。

日本政府が責任を持ってGHQが指令する改革を実行する。

結局、マッカーサーは説得を聞き入れ3ヶ条の布告を出さないことに決まりました。

日本は、負けた国ですが、卑屈になることなく、堂々と戦勝国アメリカと交渉した出来事があるのです。

